

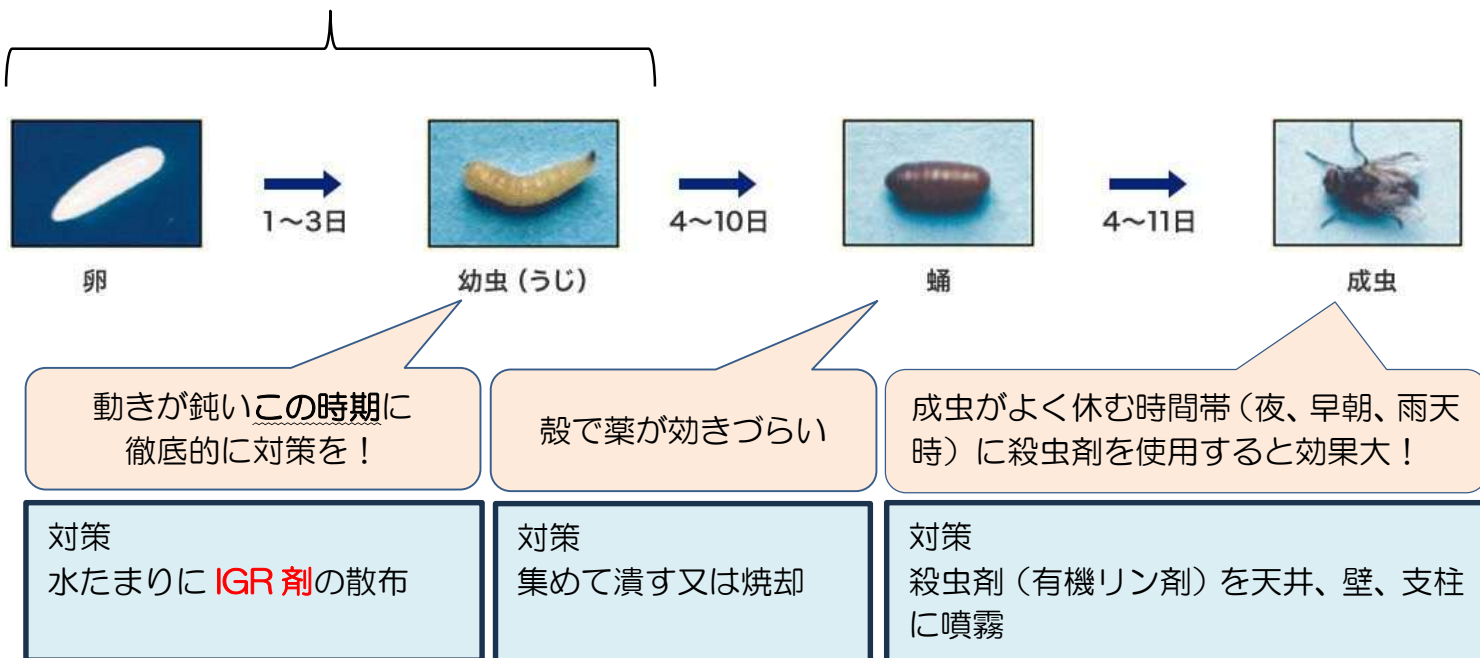
ハエの防除対策を実施しましょう！

ハエの発生は近隣住民からの苦情の原因になるばかりでなく、病原菌やウイルスの媒介、ストレスによる家畜の生産性の低下にもつながります。

まず、幼虫（うじ）が多くいる糞、飼料残渣や水槽廻りなどの発生源を確認の上、清掃や **IGR 剤（昆虫発生抑制剤）** 等による幼虫対策を中心にハエの発生密度を抑えてください。

環境対策（ハエの産卵・生育場所をなくしましょう）

- 家畜の糞尿やこぼれた飼料のこまめな除糞、清掃
- 適切な堆肥化（40℃以上、水分50%以下でふ化率ダウン）



注意

※薬の飛散防止のため、風の強い日の散布は避けましょう！
※同じ薬剤を連用せず、異なる系統の薬剤をローテーションして使用しましょう。

秋に向けて今からしっかり対策しましょう！

梅雨明け前の暑熱対策をお願いします

気象庁によると、関東地方の向こう3か月（6～8月）の平均気温は、平年より高い見込みです。

本格的な暑さが来る前に、暑熱対策に取り組みましょう。



暑熱対策のポイント

- ✓ 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧
※羽根の掃除などお手入れも忘れずに！
- ✓ 畜舎環境の改善
 - 寒冷紗やよしずによる日よけの設置
 - 屋根裏・壁・床への断熱材の使用
 - 屋根への石灰塗布
- ✓ 良質で消化率の高い飼料や、ビタミン・ミネラルの追給、きれいで冷たい水の給与
- ✓ 高温・多湿で飼料が変敗しやすい季節です。十分確認してから給与しましょう。



屋根への石灰塗布

畜舎火災の発生を防ぎましょう！

- ①火災の原因なる機器類の管理
- ②電気設備の点検（漏電・加熱防止）
- ③メタンガスへの引火に注意
- ④火災発生を想定した準備

添付のチラシを目に付く場所に貼って、日ごろからの注意をお願いします。

畜舎火災を防ぎましょう！



火災の原因となり得る機器の取扱い

- ✓ 暖房器具及び電気機器の使用や給油など、農場内での火災の発火源となる機器の取扱い及び発火要因に繋がる作業ルールについて従業員全員で再確認し、火災予防対策を徹底しましょう。
- ✓ 暖房器具等の周囲に乾草、エサ袋、木材等の燃えやすいものを置かないようにしましょう。



電気設備の漏電や過熱防止のための点検

① 漏電の点検

- ✓ 配線が扉などに挟まれたり、重いものの下敷きになっていたり、ネズミや害虫にかじられたりしたこと等による絶縁体の損傷や配線の露出や腐食はありませんか？
- ✓ コンセントやプラグ、スイッチ周囲にホコリがたまっていますか？

② 過熱の点検

- ✓ タコ足配線による容量オーバーはありませんか？
- ✓ プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか？老朽化によりひび割れなどはありませんか？
- ✓ 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか？



家畜排せつ物から発生するメタンガス

- ✓ 家畜排せつ物から発生するメタンガスに引火する恐れがあることから、メタンガスが発生しやすい場所では、火気の取扱いに注意しましょう。



畜舎火災の発生を想定した準備

- ✓ 消火器具や火災報知器を設置しましょう。
- ✓ 家畜や従業員の避難方法や避難経路、避難場所の確認をしましょう。
- ✓ 従業員の消火・避難訓練を実施しましょう。